

2019年度 関東支部運営委員会（第4回） 議題書

日時：2020年2月20日（木）9:30～12:00 会場：地盤工学会会館								
支部長	安田 進	○	副支部長	中 込 淳	×	副支部長	坂上 敏彦	○
副支部長	小峯 秀雄	○	副支部長 発表会Gリーダー	長尾 俊昌	×	監 事	北本 幸義	×
監 事	高橋 章浩	○	幹 事 長	杉山 太宏	○	副幹事長	福原 誠	○
副幹事長	海野 寿康	○	山梨県G リーダー幹事	後藤 聡	×	茨城県G リーダー幹事	松島 亘志	×
栃木県G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県G リーダー幹事	若井 明彦	×	神奈川県G リーダー幹事	早野 公敏	×
千葉県G リーダー幹事	若月 洋朗	×	埼玉県G リーダー幹事	斎藤 健志	×	研究委員会G リーダー幹事	伊藤 和也	○
会員SG リーダー幹事	三上 武子	○	会員SG リーダー幹事	山中 光一	○	副支部長代理	三屋 竜一	×
全国大会	内村 太郎	×	オブザーバー	樋口 俊一	×	事務局	青木 美智子	○
栃木県G 代 理	清木 隆文	○						

○：出席予定，×：欠席予定，△：遅刻予定，空欄：未定

1. 前回議事録の確認

・2019年度第3回運営委員会議事録（12/13）

【別紙－1】

→内容を確認し、承認された。

2. 最近のスケジュール

・2019年度第2回商議員会：2020年2月24日 書面会議：E-投票システム（2019年度事業報告・2020年度事業計画・予算・名簿案 他）

→内容を確認し、承認された。併せてEシステム状況が報告された。

2019年度第3回商議員会：2020年4月14日 書面会議：E-投票システム（2019年度決算報告）

→内容を確認し、承認された。

・令和2年度関東支部通常総会：2020年4月24日（金）16:00-19:30 【別紙－2】

特別講演会：講師 荒川政彦氏（神戸大学 大学院理学研究科地球惑星科学専攻 教授）

「はやぶさ2による小惑星リュウグウの探査と宇宙衝突実験」

→講演内容を説明し、承認された。

・第17回地盤工学会関東支部発表会 GeoKanto2020：2020年11月27日（金）

→開催内容を説明し、承認された。本部開催の「地盤工学シンポジウム」および関西支部のイベントとスケジュールがバッティングしていることを報告。地盤工学シンポジウムについては、本部に日程変更を依頼。GeoKanto2020自体は日程変更無し

→民間の技術発表、会社説明のブースについての改善意見。宇都宮で実施した際同様に、

・企業紹介のチラシ配布エリアを設置（チラシ配布場に企業担当者を置く）

・PRについてポスター発表形式の提案

・懇親会前の30分程度で各社内容を説明できる時間を設ける

### 3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- |     |  |         |
|-----|--|---------|
| (1) | 令和元年度名誉会員推挙候補者の推薦依頼（提出済）<br>→内容を確認し、承認された。   | 【別紙－ 3】 |
| (2) | 功労章受章候補者の推薦依頼（提出済）<br>→内容を確認し、承認された。   | 【別紙－ 4】 |
| (3) | 令和元年度永年におたる正会員への感謝状贈呈について<br>→内容を確認し、承認された。  | 【別紙－ 5】 |
| (4) | 令和元年度特別会員表彰について<br>→内容を確認し、承認された。  | 【別紙－ 6】 |
| (5) | 令和2年度支部「事業計画案（まえばん、本文）・正味財産増減予算案」ご提出についてのお願い（提出済）<br>→まえばんの内容に災害対応についての文言を追加して欲しい旨、安田支部長より依頼があった。その他、まえばんの文章について追加する内容（イベント等）があれば、付け加える。<br>→災害対応への文言を付け加える。 | 【別紙－ 7】 |

### 4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- |     |  |         |
|-----|--|---------|
| (1) | 令和2年度予算案<br>→予算システムの変更に伴う内容変更の説明、承認された。<br>→予算運用について、全体的な黒字化および黒字部分について基金化することの検討を小峯副支部長から提案があった。<br>→基金も含め次年度以降、運用をどうするかさらに検討する。  | 【別紙－ 8】 |
| (2) | 令和2年度名簿案<br>→内容を確認。変更、留任について承認された。   | 【別紙－ 9】 |
| (3) | 支部長公募の件・・・1件応募有<br>→内容の説明有り。承認された。   |         |
| (4) | 商議員・参与の選出依頼<br>→内容を確認し、承認された。  | 【別紙－10】 |
| (5) | 共催・協賛・後援等の取り決めについて<br>→内容を確認、関西支部のものを素に関東支部でも整備をすすめる。ただし、本部の規定も確認し、それにも準じた形にする。<br>→支部の内規とし、他者に配布できるような文面になるよう検討する。  | 【別紙－11】 |
| (6) | 若手技術者の意見交流セミナーについて<br>→内容を確認。コロナウイルスのこともあるが、開催日程の変更は無し。ただし、参加者の宿泊は大部屋から個室へと変更する（現状においては、大部屋予約済み。追加で個室の予約を行う）。<br>→大部屋から個室への変更に伴う金額アップについては、認める。<br>事務局で個室を予約、キャンセル可能時期まで様子を見る。 | 【別紙－12】 |
| (7) | 1/10 顧問会開催<br>→内容を説明。安田支部長より 東京グループ 設置の提案があった。<br>→GeoKantoでの企業説明の在り方について、顧問より提案があった。※内容部分は、GeoKanto2020のところに記載。   | 【別紙－13】 |
| (8) | 2019年度 関東支部賞技術賞  |         |

- ・「近接構造物への影響を最小限に抑えたシールドトンネル地中拡幅のための下水道工事では国内最大規模の凍結工事－隅田川幹線その3工事－」

東京都水道局第一基幹施設再構築事務所・東急建設株式会社

→内容を確認し、承認された。

- (9) 2019年度予算執行状況について（1月末現在）

【別紙－14】

→内容を確認し、承認された。

## 5. メール審議決定事項

- (1)（後援）5/19（後援依頼）一般社団法人 STTG 工法協会「止水技術フォーラム」

→内容を確認し、承認された。

## 6. 開催結果、進捗状況の報告（前回運営委員会以降、開催分を記載）

- (1) 12/24 栃木県グループ現場見学会「宇都宮市 LRT(仮称)鬼怒川橋梁下部工(ニューマチックケーソン)現場見学」19名【開催済】
- (2) 1/29 共催行事（埼玉県グループ）：令和元年度「技術講演会」115名【開催済】
- (3) 2/5 後援行事：「環境防災セミナー2020-台風による土砂災害とスマートシティについて」30名【開催済】
- (4) ~1/17 会員サービスグループ・企画総務グループ 地盤工学会創立70周年記念行事「地盤の魅力を探せ！インスタフォトコンテスト」投稿数39件72枚の写真の応募【開催済】

→山中委員より選考状況について内容を説明。

## 7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービスグループ 【別紙－15】  
→三上委員より今年度実施の内容と次年度の予定年度のメンバーの説明
- 
- (2) 茨城県グループ 【別紙－】
- (3) 栃木県グループ 【別紙－16】  
→清木委員より今年度実施の内容と次年度の予定、次年度のメンバーの説明。
- 
- (4) 群馬県グループ 【別紙－17】  
→今年度実施の内容と次年度の予定、次年度のメンバーの説明。
- 
- (5) 山梨県グループ 【別紙－】
- (6) 千葉県グループ 【別紙－18】  
→山中委員より今年度実施の内容と次年度の予定の説明あり。
- 
- (7) 埼玉県グループ 【別紙－19】  
→今年度実施の内容と次年度の予定、次年度のメンバーの説明。
- 
- (8) 神奈川県グループ 【別紙－20】  
→今年度実施の内容と次年度の予定、次年度のメンバーの説明。
- 
- (9) 研究委員会グループ 【別紙－21】  
→伊藤委員より今年度実施の内容と次年度の予定を説明。  
→次年度2テーマ募集を行う。
- 
- (10) 支部発表会グループ 【別紙－22】  
→小峯副支部長より次年度の状況を説明。  
民間企業ブースの充実化を図ることを検討する。
- 
- (11) 企画総務グループ 【別紙－23】

- 
- >今年度実施の内容と次年度の予定，次年度のメンバーの説明.
  - >安田支部長より次年度実施予定の国際講演会について，9月実施（WCEE 後）に実施する旨説明.
- 

## 8. その他

### (1) 退会届

・なし

### (2) 新入会

・なし

### (3) 次回運営委員会開催日程

2020年 月 日（ ） : ~ : (昨年 2019年 7月 5日（金）開催)

—>安田支部長より 2011年東北太平洋沖地震 10周年イベントの企画を次年度検討して欲しい旨，要望が出た．東北支部と関東支部で共働できないかを含め検討する．

—>安田支部長から関東各地の被災地の復興状況について，自治体担当者を呼んで講演するなどアイデアがある旨紹介があった．次年度，企画総務グループ内で検討する．